

禁 転 載 複 製
秘 密 扱
要 回 収

競技者番号
氏 名

アビリンピックかがわ2024
(令和6年度香川県障がい者技能競技大会)
<ワード・プロセッサ部門>
公開課題

1. 競技時間：90分

2. 競技内容

- (1) 本課題は、課題1から課題3までの3課題で構成され、課題毎に設問が設定されています。設問に従って解答してください。
- (2) 文字の大きさ及び書体は、問題に指定のない限り、**使用するソフト等の標準**とします。
- (3) 各課題において、**全角・半角・大文字・小文字の別は、原稿どおり**とします。
- (4) 解答ファイルの保存場所は「ドキュメント」フォルダ内とします。
- (5) 保存の際のファイル名については、**全角で入力**すること。
- (6) 各課題の左上の**競技者番号**は各自の**競技者番号（数字）**を、**競技者氏名**はひらがなで、**姓と名は続けて**入力すること。

3. 注意事項

- (1) この競技問題の表紙に、競技者番号及び氏名を必ず記入して下さい。
- (2) 競技開始後は、競技試験委員の指示に従って行います。指示に従わないため、競技実施に支障が生じた場合には、失格となる場合がありますので、十分に注意してください。途中の休憩はありません。
- (3) 競技中、読みにくい文字等の質問がある場合や機器の異常が発生した場合には、黙って手をあげ、競技試験委員の指示に従ってください。ただし、競技試験問題の内容、操作方法等についての質問は受け付けません。
- (4) 競技開始の合図があるまで、パソコンに手を触れないでください。
- (5) 競技試験終了時刻前にすべての課題が終了した場合には、機器等そのままの状態、黙って手をあげ、競技試験委員の指示に従ってください。
- (6) 試験中、手洗いに立ちたい場合は、黙って手をあげ、競技試験委員の指示に従ってください。介護人または手話通訳の協力が必要な場合は、その旨を伝えてください。
- (7) 競技中は、筆記用具等の貸し借り、私語、携帯電話の使用等を禁止します。
- (8) 競技終了の合図があったら、直ちに、作業をやめて、競技試験委員の指示に従ってください。
- (9) 競技終了後、この競技問題は回収します。

【課題1】案内文に関する課題

以下の問題に従い、A4縦1枚に収まるよう文書を作成し、かがわ101の文書名でドキュメントフォルダに保存しなさい。1行目に競技者番号(数字)および、競技者氏名(ひらがな)を入力しなさい。なお、競技者番号と競技者氏名の間にスペースをひとつ空けること。

なお、文中の □ は空白行を意味するので、□を入力する必要はありません。

【問題1】1行の文字数を40、1ページの行数を45、余白は上下左右20mmに設定しなさい。

【問題2】タイトルのフォントをMSゴシック、16ポイント、太字、中央揃えとし、下線(波線)を設定しなさい。

【問題3】本文中の「『新入社員向けコミュニケーションスキルセミナー』」を斜体に設定しなさい。

【問題4】本文中の「昼食が必要な方は事前にご連絡下さい」に傍点を設定しなさい。

【問題5】本文中の「泉保」に「せんぼ」というルビを設定しなさい。

ルビは、配置：均等割り付け2、フォント：MSゴシック、サイズ：6ポイントで設定する事。

【問題6】「研修の内容」に4文字の均等割り付けの設定をしなさい。

【問題7】作例に従い、表を作成しなさい。表中の文字フォントはMSゴシックとする。

また、表中の項目セルに緑色系の塗りつぶし色を設定しなさい。

なお、表の太線は1.5ポイント、細線は0.5ポイントの実線とする。

【問題8】表タイトル「【受講申込書】」をMSゴシック、14ポイント、太字、中央揃え、130%文字拡大に設定しなさい。

※注意事項

問題で問われていない書式・線等の設定に関しては、次ページの作例を参考にすること。

令和6年2月1日

学生各位

アビリン香川パソコンスクール
セミナー係

新入社員向けコミュニケーションスキルセミナー

このたびアビリン香川パソコンスクールでは、下記のとおり『新入社員向けコミュニケーションスキルセミナー』を開催することにしました。社会人としてきちんと仕事をこなしていくためには同僚・先輩・上司・取引先の人々等コミュニケーションを深めていく必要があります。報・連・相はもちろんの事、トラブル時の対応等コミュニケーションの取り方1つでその後の状況が違ってきます。

本セミナーでは、社会人としての基本コミュニケーションスキルはもちろん、ケーススタディでロールプレイング実習を行いながら体験を通じて学んでいただけるようなカリキュラムを準備しております。

是非ご受講いただきますようお願い致します。

記

日 時 令和6年3月10日（日） 午前10時～午後4時（途中1時間休憩）
受講料 5,500円（テキスト代含む） 昼食が必要な方は事前にご連絡下さい
会場 アビリン香川パソコンスクール 第1教室
持参物 筆記用具、受講票
講師 せんぼ 泉保洋子

研修の内容

1. 自己紹介
2. 他己紹介
3. 基本コミュニケーションスキル
挨拶、電話対応、来客対応、報・連・相について等
4. ケーススタディによるロールプレイング実習

【受講申込書】

学部・学年			
参加者氏名			
携帯電話		メール	
昼食	必要		不要

※申込書に必要事項を記入の上、FAX（888-1111）して下さい。

以上

【課題2】 ビジネス文書作成に関する課題

以下の問題に従い、A4縦1枚に収まるよう文書を作成し、かがわ102の文書名で保存しなさい。1行目に競技者番号(数字)および、競技者氏名(ひらがな)を入力しなさい。なお、競技者番号と競技者氏名の間にスペースをひとつ空けること。

なお、文中の □ は、空白行を意味するので □ を入力する必要はありません。

【問題1】 1行の文字数を40、1ページの行数を45、余白は上下左右20mmに設定しなさい。

【問題2】 「お客様各位」を文字拡大150%にしなさい。

【問題3】 オートシェイプを配置し、タイトルを、MSゴシック、20ポイント、太字に設定しなさい。オートシェイプの線の太さは、3ポイント、塗りつぶしは、テクスチャ(新聞紙)とします。

【問題4】 「料理教室の詳細」を太字に設定しなさい。

【問題5】 作例に従い、表を作成しなさい。

表内のフォントは「MSPゴシック」とし、表の項目名は太字に設定し、項目セルに黄色系の塗りつぶし色設定しなさい。

表の太線は2.25ポイント、細線は0.5ポイントの太さとします。

文字の配置・色・線種など、その他の設定は完成図のとおりとする。

【問題6】 表の右横に、デスクトップにある「課題2.jpg」を挿入し、作例のように位置・大きさを設定しなさい。

【問題7】 作例に従い、地図を作成しなさい。なお、オートシェイプの色は任意とする。

その他の設定は完成図のとおりとする。

【問題8】 地図の横にある、【会場】、【住所】を文字拡大150%に設定しなさい。

※注意事項

問題で問われていない書式・線等の設定に関しては、次ページの作例を参考にすること。

お客様各位

アビリン調理教室 高松校

瀬戸内の素材を使った初心者向け料理教室 ～簡単ひと手間で料理がワンランクアップ～

瀬戸内の厳選素材を使って楽しく料理を作ってみませんか？普段の料理にひと手間加えるだけでいつもと全く違う料理に早変わり！！

瀬戸内の地魚、野菜、フルーツ等旬の素材をたっぷり使い、プロがワンポイントアドバイスをお教えいたします。普段の料理がワンランクアップする事間違いなしです！！

初心者向けの料理教室ですので、女性だけでなく男性の皆様方も是非ご参加いただき、ご家庭で料理にチャレンジしてみてください。

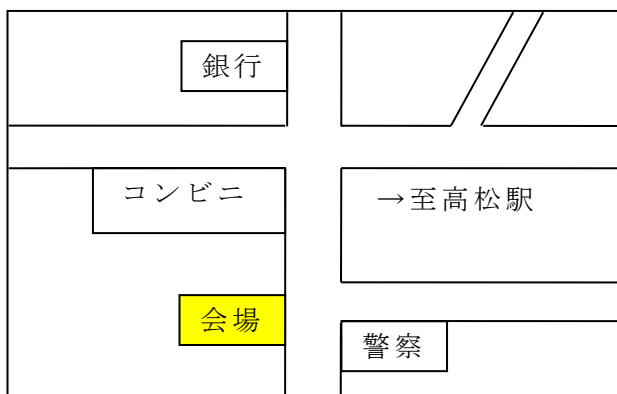
多数のご参加をお待ちしております。

料理教室の詳細

日 時	令和6年3月29日(土) 10時～12時(2時間)
場 所	アビリン調理教室 高松校 第2調理室
料 理 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・地魚を使った煮物 ・野菜たっぷりパスタ ・シイタケたっぷり炊き込みごはん ・フルーツケーキ ・野菜スムージー ※その他ご希望がありましたらリクエストに応じます
講 師	高松 綾香 (アビリン調理教室主任講師)



※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用下さい。



【会場】

アビリン調理教室 高松校

【住所】

高松市番町1-15-999

番町アビリンビル2階

TEL 087-123-1111

FAX 087-987-9999

【課題 3】 英文入力に関する課題

以下の設問に従い、A 4 縦 1 枚に収まるよう文書を作成し、かがわ 1 0 3の文書名で保存しなさい。1 行目に競技者番号（数字）および、競技者氏名（ひらがな）を入力しなさい。なお、競技者番号と競技者氏名の間にスペースをひとつ空けること。

なお、文中の □ は、空白行を意味するので、□ を入力する必要はありません。

【問題 1】 1 行の文字数を 4 0、1 ページの行数を 2 5、余白は上下左右 2 0 m m に設定しなさい。

【問題 2】 タイトルのフォントを「Arial」2 4 ポイント、太字、中央揃えに設定しなさい。

【問題 3】 本文のフォントを「Century」1 4 ポイントに設定しなさい。

【問題 4】 文章右下に、デスクトップにある「課題 3 .jpg」を挿入し、作例のように位置・大きさを設定しなさい。

□

The Wonderful Wizard of Oz

□

Folklore, legends, myths and fairy tales have followed childhood through the ages, for every healthy youngster has a wholesome and instinctive love for stories fantastic, marvelous and manifestly unreal.

The winged fairies of Grimm and Andersen have brought more happiness to childish hearts than all other human creations.

Yet the old time fairy tale, having served for generations, may now be classed as “historical” in the children’s library; for the time has come for a series of newer “wonder tales” in which the stereotyped genie, dwarf and fairy are eliminated, together with all the horrible and blood-curdling incidents devised by their authors to point a fearsome moral to each tale.

Modern education includes morality; therefore the modern child seeks only entertainment in its wonder tales and gladly dispenses with all disagreeable incident.

